

図書館だより

4月号

2024年4月23日
安田小学校図書館



■新しい本が入りました！

春休みの間に、たくさんの新しい本が入りました。読みやすい伝記や、今まで少なかった鳥の本、リクエストが多かった怖い話も入っています。今年度も図書館でいろいろな本をたくさん読みましょう。

リクエストカード

ねん くみ
なまえ／
ほんのじょうほう(だい さくしゃ 題や作者など)



リクエストも受け付けています。

保護者の皆様へ

朝読書

8時20分から30分までの朝読書の時間は学校全体が静かです。廊下を歩くとページをめくる音が聞こえてきて、私は自分の足音を気にしなければならないほどです。朝読書は、本を読む時間の確保と、全校で落ち着いた1日の始まりを迎えるために行っています。図書館教育を支える大切な時間ですので、ご家庭でも「朝読書でどんな本を読んでいるの？」など話題にあげてみてください。



しおりについて

図書館では、期限票とスタンプカードの両方の役割をする「しおり」を使っています。

しおりは読書冊数の記録として保存するため、カードリングやリボンなどで束ねてご利用ください。しおりの枚数がたまると「これだけ読んだ」という自信につながり「もっと読もう」という意欲を持つことができます。しおりは連絡袋で保管しますので、学校での貸し出し状況を確認することもできます。前の学年のしおりはご家庭で保存されるか、そのままばね続けていただいてもかまいません。



学年別おすすめの本



国語の教科書にある「〇年生の本だな」から、おすすめの本を紹介します。

1年生

『ピーターのいす』

エズラ・ジャック・キーツ/さく 木島始/訳 偕成社



大切なベビーベッドや食卓用のいすを、生まれたばかりの妹に取られてしまったピーターは、まだピンクにぬりなおされていない自分のいすをもって家を出てしまいます。

コラージュで描かれた絵と文章がとてよく調和した絵本です。

3年生

『ポリーとはらぺこオオカミ』

キャサリン・ストーリー/作 掛川恭子/訳 岩波書店



『赤ずきん』『三びきのこぶた』『七ひきのこやぎ』といった昔話と同じように、女の子を食べようとくらむオオカミが出てきます。本当は恐ろしいはずのオオカミですが、このお話では女の子の方が一枚も二枚もうわて。さあ、女の子はどうやってオオカミを追いはらうのでしょうか。

5年生

『おじいちゃんは水のおいがした』

今森光彦/著 偕成社



漁師をしている田中さんの一年の生活をたどりながら、美しい水と密着した生活の知恵を伝える写真絵本。川でとれた魚を食べ、食器をわき水で洗う暮らしは、持続可能な生き方に見える。現代社会で忘れられている「循環する暮らし」を知ることができる。

2年生

『黒ねこのおきやくさま』

ルース・エインズワース/作 山内ふじ江/絵 荒このみ/訳 福音館書店



びんぼうなおじいさんの土曜日のお楽しみは、ちょっとしたごちそうを食べる事。そのだいじな土曜日に、やせてびしょぬれになった黒猫が家にまよいこんできました。

冬の夜、ひとりぐらしのおじいさんにふしぎなできごとがおこります。

4年生

『月へ アポロ11号のはるかなる旅』

ブライアン・フロッカ/作・絵 日暮雅通/訳 偕成社



1969年、アメリカから月に向かい発射された宇宙船アポロ11号。人類初の月面着陸までの様子が、臨場感たっぷりの絵と言葉で描かれています。特に月の軌道に乗るまでは、読んでいても手に力を入れてしまうほどの迫力。見返しにはアポロ計画の概要が詳しく説明されています。

6年生

『あしたのことば』

森絵都/作 小峰書店



ちょっとした会話の流れで気まぐらくなってしまった友達とやり直すための言葉。どれも聞いていないのに、羽が生えたように口から出ていくほどのひとりごと……『カラフル』の著者である森絵都が「ことば」をテーマに描いた温かい雰囲気短編集。

図書館だより



5月号

2024年5月24日
安田小学校図書館

■ 1年生の図書館利用が始まりました

お話を楽しむ「図書館開き」を皮切りに、貸出・返却の仕方を授業で学んだ1年生が、休みに図書館にやってくるようになりました。

小さな1年生が大きな絵本や図鑑をかかえている姿を見ると、うまく図書館を利用できるかなと心配になりますが、どの児童も上手に本を選び、借りていきます。もちろん、利用者カードが探せないとか、借りたかった本が見当たらないといった小さな困りごとはありますが、図書委員を中心に高学年のお兄さんお姉さんに優しく助けてもらい、にこにこしながら帰っていきます。この小さな利用者が6年間でどんな本を読むようになるのか、楽しみです。



保護者の皆様へ「朝読書の本について」

朝読書の本は、学校図書館で借りた本か学年文庫の本を読むことになっています。家の本を持ってくることも可能ですが、基本的には学校の本を読んでほしいものです。

小学校の本は、「安田小学校の子どもたちに6年の間に読んでほしい本」という視点を持って選ばれています。ロングセラーが多いので、家にある本や書店にずらりと並んでいる本のような華やかさはないかもしれませんが、読んで深く考えることができたり、強く心が動かされたりする本を大切にしています。だからこそ、図書の授業での様々な働きかけを受けて児童が興味をもち、朝読書の時間に学校の本を読むという流れを作りたいと考えています。

子どもたちが読むすべての本が、読みごたえのある本である必要はありません。映画のノベライズやお気に入りのシリーズを読みたい時もあるでしょう。ですが、小学校の間に読む本の中で、大人になってもなお何度も読み返したくなる本に出合ってもらいたい、そのために毎日10分間の朝読書を有効に使ってほしいと思っています。

ロングセラー絵本

保護者の方も子どものころに読んだかもしれない懐かしの絵本です。

『ばばあちゃんのおはなし どろんこおそうじ』

さとうわきこ/さく・え 福音館書店



そうじをするはずだったのに、どろんこになってけんかをはじめてしまったいぬとねこ。様子を見に来たばばあちゃんは、怒るのかと思いきや「さあ あそぼう」といって大騒ぎを始めます。さとうわきこさんの大人気シリーズ。

『となりのせきのますだくん』

武田美穂/作・絵 ポプラ社



1年生のみほちゃんのとにりにすわっているのは、いじわるなかいじゅうの「ますだくん」。言わなくていいことばかり言う「ますだくん」とある日けんかしてしまったみほちゃんは、学校をお休みしたくなってしまう。

『100まんびきのねこ』

ワンダ・ガアグ/ぶん・え いしいもこ/訳 福音館書店



猫を飼いたいおじいさんとおばあさんがいました。おじいさんが丘をこえ、谷を歩いていくと「どこもここも、ねこでいっぱいになっているおか」にたどりつきました。さっそく猫を選ぼうとしたが、どうしても1匹だけを選ぶことができません。

『ラチとらいおん』

マレーク・ペロニカ/ぶん・え とくながやすもと/訳 福音館書店



世界中で一番弱虫のラチの夢は飛行士になることです。そんなラチのところにあるひ「ちいさな あかい らいおん」がやってきて言いました。「きみも つよくなりたいなら、ぼくが つよくしてやるよ」。

『どうぞのいす』

香山美子/作 柿本幸造/絵 ひさかたチャイルド



野原におかれたいすに、どんぐりがいっぱいあったカゴを置いたロバさん。少しだけおひるねをして、起きてみるとなんとどんぐりがかごいっぱいになった。いったいおひるねの間に何があったのでしょうか。

『びゅんびゅんごまがまわったら』

宮川ひろ/作 林明子/絵 童心社



学校のとなりに、みんなの大好きな遊び場がありました。ところが、男の子が一本橋から落ちてしまったために、遊び場にはカギがかけられてしまいました。子どもたちはカギを開けてもらえるよう校長先生にお願いに行ったのですが、先生はいじわるそうにある宿題を出しました。



図書館 ⇄ 教室 つながる授業

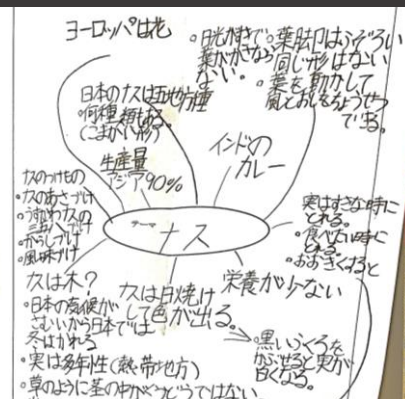


3年生理科のチョウを育てる活動とからめて『へんしん』桃山鈴子/福音館の読み聞かせがありました。ウラギンシジミというチョウのさなぎは、葉っぱにべたりとくっついているのですが、よく知っている他のチョウのさなぎとは違う形に、不思議そうに首をかしげる子どももいました。

飼育箱が置かれている3年教室前にも、チョウの本が置かれ、実体験と言葉・図がむすびつく学びとなりました。

5年生社会科の農業新聞作成では、事前学習として「あらまし読み」を行いました。ノンフィクションの本で行う「あらまし読み」は、本を読みながらその内容を整理し、それをペアの相手に説明することで本の概要をつかむ手法です。

高学年になると知識の本から遠ざかる児童が多いのですが「このやりかただと内容を理解しやすい」「知識の本も面白い」といった前向きな感想が聞かれました。



保護者の皆様へ《本がぬれたら》

先日、「水筒からこぼれたお茶で本がぬれてしまいました。」と謝りにくる児童がいました。気を付けていても、本を濡らしてしまったり、傷めてしまったりすることはありますが、こんなふうに正直に伝えてくれれば、本を修理してまた使うことができます。

保護者の方からも破損箇所を教えていただくことがあります。そのままにせず、お知らせして下さることに感謝しています。

本がぬれた時

乾かないようにビニール袋などに入れ、早めに図書館に持ってこさせてください。濡れたページが乾ききってしまうと、紙が波打って元に戻らなくなってしまいます。

本が壊れた時

ご家庭でなおさず、返却時に伝えるようにさせてください。専用のテープなどを使いこちらで修理をします。

クイズ この人だあれ？

7月3日、みなさんの生活でよく使われている「あるもの」が変わります。その「あるもの」に関わっている下の4人の名前はなんでしょう。

クイズの答えを図書館に書きにきてください。

1～3年生は「あるもの」がなにかを、4～6年生は4人の名前を答えましょう。正解した人にはプレゼントがあります！

①



■埼玉県の裕福な農家の子どもとして生まれた。
■将軍徳川慶喜の弟のおともをして、1867年のフランス万国博覧会を見た。
■500以上の企業とかかわりを持つ「日本の資本主義の父」。

②



■小さい頃はやんちゃで、両親は医者になることをすすめていたが、本人は武士になりました。
■顕微鏡で見た細胞に感動し、微生物に興味を持った。
■1901年の第一回ノーベル生理学・医学賞の候補者。

③



■父のすすめで、わずか6歳で日本初の女子留学生となった。
■日本の女性が、男性と協同して対等に力を発揮できるようになることを目指した教育者。
■ナイチンゲールにもらった花束を押し花にして、大切にしていた。

④



■自分が発行する新聞『時事新報』の中で①の生き方をほめている。
■研究所の場所が決まらず困っていた②のために、自分の土地を分けてあげた。
■③のお父さんと一緒にアメリカへ行ったことがある。

国立印刷局のウェブサイトでは、古いお札の図柄や、お札の製造工程を見ることができます。
<https://www.npb.go.jp/index.html>



図書館だより



7月号

2024年7月16日
安田小学校図書館

■夏休み特別貸し出し

夏休みに向けて、本の特別貸し出しを行います。期間内は毎日2さつ貸し出しをしていますので、いろいろと借りかえてみて、長いお休みにぴったりの本を見つけてください。

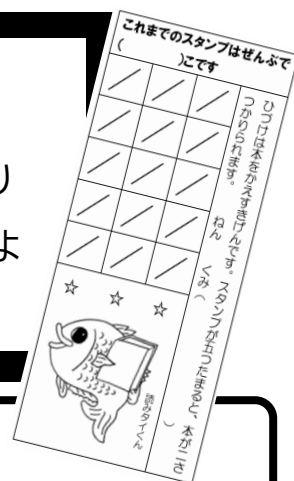
期 間：～7月20日(土)
返却期限：9月2日(月)
冊 数：2さつ



1年生が4類5類の本に触れる学習。読書のはばが広がります。

しおりは連絡ぶくろに入れましょう

なつやす ひと
夏休みあけに、しおりをなくす人がいます。しおりは連絡ぶくろに入れて、2学期にまたもってくるようにしましょう。



保護者の皆様へ《夏休み前のお知らせ》

○1学期に借りた本を一度すべて返却することになっています。期限が切れている本がないか、連絡袋に入っているしおりをお子様と一緒にご確認ください。

○児童は夏休み用の本を2冊借りて帰りますが、保護者の皆様にも本を貸し出します。懇談にいらした際、ぜひ2階図書館へもお立ち寄りください。

貸 出 日：7月22日(月)～7月25日(木)

貸 出 時 間：16:30まで

冊 数：1児童2冊まで

最終返却日：9月2日(月) お子様づてで返却してください

○1・3・5年生に、こども図書館が作成したブックリストを配付します。3年生は図書館見学にも行きました。図書館に対する興味が高まっているこの時期、ご家庭でも足を運ぶことでお子様の視野を広げることができると思いますので、機会があればお出かけください。

読書感想文 課題図書

第70回青少年読書感想文全国コンクールの
課題図書の中から幾つか選んで紹介します。

『おちびさんじゃないよ』

マヤ・マイヤーズ/ぶん ヘウオン・ユン・え
まえざわあきえ/やく イマジネーション・プラス



テンちゃん小さな女の子。でも見た目で判断しないで、って思っています。ある日、いじめっ子が小さなマルくんにいじわるを。テンちゃんはいじめっこに立ち向かいます。そして「わたしはちびじゃないっ!」と大きな声で。

『聞いて聞いて!音と耳のはなし』

高津修・遠藤義人/文 長崎訓子/絵 福音館書店



音は震える空気の波。大きな音は大きくうねり、高い音は細かく震える。身のまわりの音がいきいきと立体的に聞こえるのは、2つの耳に届く音が少しズレてるせいなんだって!音のヒミツと耳のしくみがわかるかがく絵本。

『海よ光れ!』

3.11被災者を励ました学校新聞

田沢五月/文 国土社



東日本大震災の避難所となった小学校で、被災者といっしょに寝泊まりしていた子どもたち。何を感じ、自分たちに何ができるのかを考え取り組んだことは…。子どもたちの思いをつぶさに伝える感動ノンフィクション。

『ごめんねでてこい』

ささきみお/作・絵 文研出版



「ごめんね」という言葉の重みや大切さを考えさせてくれる1冊です。その人のことをしっかり思って、心からの言葉を伝えること。今ある日常を大切にすること。思いやりや家族との関わりをえがいたお話です。

『さようならプラスチック・ストロー』

ディー・ロミート/文 ズユエ・チェン/絵
千葉茂樹/訳 光村教育図書



約5千年前に発明されたストローは、なぜ今、問題になっているのだろう?ストローの発明と改良の歴史、プラスチックごみが環境や海の生き物に与える影響、解決策など、SDGsを考え行動するためのノンフィクション。

『ぼくはうそをついた』

西村すぐり/作 中島花野/絵 ポプラ社



あの人を救いたくて、原爆で亡くなった息子のフリをした——小学5年生のリョウタが、自分の住むヒロシマの街を歩きながら、今も消えない原爆の傷と人々の想いについて考えます。平和への祈りをこめた物語。

図書館だより



9月号

2024年9月13日
安田小学校図書館

図書の授業。聞くことも読むことも大好きです。



保護者の皆様へ「保護者と子どもの読書」

親子読書へのご協力ありがとうございました。本を通してのあたたかい交流を垣間見ることができて、私も幸せな気持ちになりました。感想を一部紹介します。

- ・子どもが感情移入して泣き出してしまいびっくりした。
- ・途中で辞めずに最後まで読めた。
- ・本を借りるようになり、自発的に本を手にとることが増えた。
- ・弟に読み聞かせしてくれた。声の強弱だったり早さだったり、とても上手に読んでいて驚いた。
- ・途中で自分が泣いてしまった。
- ・本の感想を話してくれる時の笑顔がすごく素敵でした。
- ・「お母さん!早く読んで!」私と感想を共有したかったようです。
- ・「どこまで読んだ?」と何度も聞かれた。

今年度は読書感想文課題図書だった『さようなら プラスチックストロー』が良く読まれていました。温暖化を肌で感じる近年です。「便利だというだけで使い続けていいのか、他に方法はないのか親子で考えた。」という感想もありましたが、環境問題についての本もしっかり読んでほしいと思います。

親子読書で読まれた本を右ページに何冊か掲載しましたので、本選びの参考になさってください。



休み時間の図書館。思い思いに過ごしています。

親子読書で読まれた本【表中の()はシリーズ作品の作者もしくは出版社です。

低学年

絵本と中心として、『ぐりとぐら』『おばけのアッチ』といったロングセラーや昔話がよく選ばれていました。評価の定まった本を伝えてくださっていることに感謝します。

シリーズ

11ぴきのねこ(馬場のぼる)	ぞくぞくむら(末吉暁子)
わかったさん(寺村輝夫)	おばけずかん(斉藤洋)
一巻完結	
ロバのシルベスターとまほうの小石	先生、しゅくだいわすれました
ながいながいペンギンの話	さっちゃんのまほうのて
しょうぼうじどうしゃじぶた	ぼくがラーメンたべてるとき
やさしいライオン	はれときどきぶた

中学年

シリーズものを読んだ家庭がたくさんありました。富安陽子や岡田淳、はやみねかおるも人気です。4年生になると伝記を読む子どもも増えてきます。

シリーズ

ズッコケ三人組(那須正幹)	マジック・ツリーハウス(メアリー・ポー・オズボーン)
名探偵(杉山亮)	大きな森の小さな家(ローラ・インガルス)
つらるばら村(茂市久美子)	たべもののおはなし(講談社)
昔話法廷(NHK Eテレ「昔話法廷」制作班)	アキンボ(アレグザンダー・マコール・スミス)
シノダ!(富安陽子)	ルドルフとイッパイアッテナ(斉藤洋)
車の色は空の色(あまんきみこ)	ファープル昆虫記
一巻完結	
ネコのタクシーアフリカへいく	ありがとうフォルカー先生
ココロ屋	大きな一年生と小さな二年生
こぎつねコンとこだぬきボン	きまぐれロボット
あらしのよるに	どうぶつ会議
きつねのでんわボックス	ぼくの弱虫をなおすには
かあちゃん取扱説明書	願いがかなうふしぎな日記
おすのつばにすんでいたおばあさん	二十一世紀に生きる君たちへ

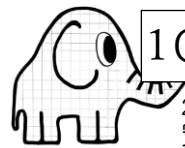
高学年

ロアルド・ダール、森絵都の本、または『十五少年漂流記』『冒険者たち』といった読み応えのある児童書や、小川糸、芥川龍之介の本、または『窓際のトットちゃん』『成瀬は天下を取りに行く』といった一般書も読まれています。

シリーズ

獣の奏者(上橋菜穂子)	シートン動物記
赤毛のアン(ルーシー・モード・モンゴメリ)	夢をかなえるゾウ(水野敬也)
一巻完結	
オズの魔法使い	世界でいちばん貧しい大統領からきみへ
銀河鉄道の夜	十歳の君へ
岳物語	トーキングドラム
トム・ソーヤのぼうけん	夜の学校
かがみの孤城	アイヌ ネノアン アイヌ
アルジャーノンに花束を	伊達政宗

図書館だより



10月号

2024年10月28日
安田小学校図書館

その1

みんなで本を

しょうかいしあおう!!

本ずきさんあつまれ！
おきにいいの本をしょうかいカード
にかいてください。
図書館にかざります。

その2

くじびき

本をかりるとくじびきが
できます。楽しいけいひ
んがあたります。

その3

読書郵便

なかよしペアから、本をしょうか
いするお手紙がとどきます。お
すすめされた本をよんで、なか
よしペアとおはなししてみませ
んか？

その4

しおりづくり

・しおりコンテスト

すてきなイラストをかいて、じぶ
んだけのしおりをつくろう！よい
しおりができた人は、コンテスト
におうぼすることもできます。

読書まつりがはじまるよ！
11月11日～11月22日

きれいなかざりも
いっぱい。
さあ、図書館に
おいでよ!!

その5

図書館ビンゴ

本に出てくるものや、だいいいに
ちなんだビンゴカードをよういし
ています。休みじかんに本をさが
して「ビンゴ！」をめざしましょう。

その6

おはなし給食

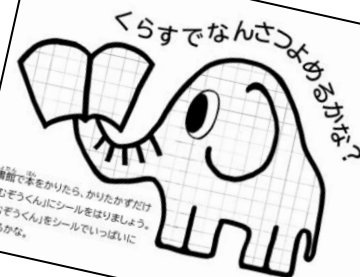
読書まつり中に、ある絵本に
出てくるスープが食べられます。
いったいどんなスープ
が出てくるのでしょうか。

当日の朝読書の時間に、
全校ほうそうでこの絵本の
よみかせをします。

その7

クラスでこんなに よめたよ

クラスにくばられた「よむゾウくん」
のマス目を、読んだ本の数だけ
ぬりましょう。
それぞれのクラスで、何色の
「よむゾウくん」ができあがるかな。



図書館だより



12月号

2024年12月16日
安田小学校図書館

■モチモチの木（3年生）

国語科で学んだ『モチモチの木』岩崎書店の作者である斎藤隆介さんの作品を、3年生が図書の時間に読みました。最初に担任の先生から読み聞かせがあり、その後に本が配られました。

1ペアに1さつの本を手にした子どもたちは、自然と文章を声に出して読み始めました。方言がちりばめられた民話風の文章には、「わらし」「ひゃくしょう」「一だども」といった今の子



どもたちが日常生活で出会うことのない言葉がたくさん出てきます。音読するのはずいぶん難しいのではないかと思います。が、授業の終わりに「好きなお話がありましたか」という先生の問いかけにほとんどの本の題名が上がるほど子どもたちは没頭して読んでいました。

斎藤作品に流れる切なさや自己犠牲が児童文学にふさわしいのかどうかについては賛否両論あると思います。ですが、『花さき山の』岩崎書店の「やさしいことをすれば花がさく、命をかけてすれば山が生まれる」という言葉に代表される「みんなで幸せになるために自分は何を行うのか」という斎藤さんの問いは、物語の形で子どもたちにしみとおりの、大人になっても人を内側から支えてくれるものになると信じています。



保護者の皆様へ《冬休み特別貸し出し》

懇談の期間中に、保護者の皆様へ本の貸出を行います。16:30まで図書館を開館しますので、気軽にお立ち寄りください。

冊数：お子様1人に対して2冊まで

返却日：1月14日（火）

お子様を通してご返却ください。



読書まつり「しおりコンテスト」の入賞者です。
おめでとうございます。

ちしきの本を開いてみよう



『日本のことばずかん』

神永暁/監修 講談社



日本には色をあらわすたくさんの言葉があります。この本には「ふじ色」「くちば色」「くれない」といった色の名前が美しい写真といっしょにおさめられています。言葉を声に出して言ってみたり、本を外にもって行って色をさがしたりしてみましょう。同じシリーズで『そら』『かず』『はな』などがあります。

『消えたレッサーパンダを追え！』

警視庁「生きもの係」事件簿

たけたにちほみ/文 Gakken



動物園のドアが壊されて、貴重なカメばかりがぬすまれる事件が発生した！警視庁「生きもの係」のすごいで警部である福原さんが本当に解決した事件を紹介するノンフィクション。動物が好きな人はもちろん、はらはらどきどきする探偵物語が好きな人にもおすすめです。

『戦場の秘密図書館 シリアに残された希望』

マイク・トムソン/著 小国綾子/編・訳 文溪堂

「自分たちの街を守りたい」という思いから、戦場になってしまったふるさとに残った若者たち。いつ家に爆弾が落ちてくるかわからない過酷な日常のなかで、それでも未来のために学びたいと考えた若者たちが選んだのは、みんなが集う図書館を地下室に作ることだった。

『イチから知りたい日本のすごい伝統文化』

絵で見て楽しい！はじめての相撲（すもう）』

鍛山瑛一/監修 西尾克洋/著 すばる舎



力士の体が土につくか、土俵の外に出るかすると負けというわかりやすいルールを持つすもうですが、その文化についてはわからないことだらけではありませんか？実はほとんどの人が知らないすもうの常識を1ページ1見出しでくわしく教えてくれる本です。同じシリーズで、歌舞伎・茶道・落語の本もあります。

『神社・お寺のふしぎ100 ～すぐ近くに ある「日本人の心のふるさと」のなぜ～』

田中ひろみ/文 偕成社



「大きな鈴は、なんのためにあるの？」「ぎざぎざの白い紙はなんなの？」といった疑問に答えてくれたり、神社やお寺にお参りに行ったとき、今まで気にもとめていなかった新しいものの見方ができるようになったりする中～高学年向けの入門書。

『あたらしいみかんのむきかた』

岡田好弘/作 小学館



みかんの皮で作る、全く新しいアートの本。1つ分のみかんの皮を、どこもむだにすることなく丸ごと切り開いて生きものの形を作るので、その展開図は大人でも頭をひねるようなこみいったものばかりです。算数の図形が好きな人は挑戦したくなるかもしれません。

図書館だより

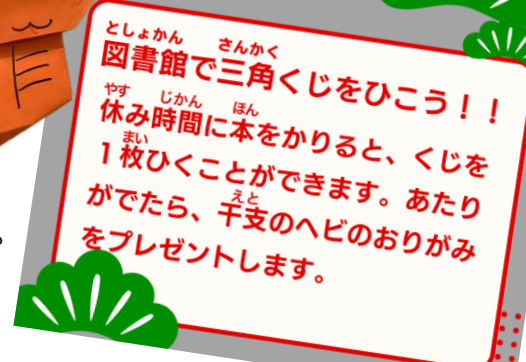
1月号

2025年1月7日
安田小学校図書館

あけましておめでとうございます。
みなさん冬休みのあいだに、たくさん本をよんで「おもしろいな」「すきだな」とおもえる本にであうことができましたか？

まだまださむい日がつづきます。休み時間は図書館にきて本をよんだり、のんびりしたり、自分の時間を楽しんでください。

※自分でヘビのおりがみをおりたい人は、図書館でいっしょにつくりましょう。おりがみをもってきてください。



朝と放課後も本を借りられます

3月までの期間限定ではありますが、5・6年生はセルフ貸出を使って朝(8:00~8:20)とそうじの時間も本をかりることができます。休み時間になかなか図書館に来ることができない人は使ってみてください。



保護者の皆様へ《本の返却について》

冬休み前の保護者貸出では、2日間で250冊を超す貸し出しがありました。また、多くの保護者の方と、読書の方向性やおすすめの本について話をすることができました。家庭で読書教育に心を砕いてくださっていること、あらためて感謝申し上げます。
本の返却は1月14日(火)です。お子様を通してご返却ください。

千支(えと)の本



今年の千支(えと)はヘビ。ふしぎなすがたを、神や魔物になぞらえられてきた生き物です。

『ヘビのひみつ』

内山りゅう/著・写真 ポプラ社



1年生にもわかりやすい言葉と写真で日本にすむ何種類かのヘビの生活を紹介した本。およんだり、魚をつかまえたりするすがたにもおどろかされますが、アオダイショウがニワトリの卵を丸のみする場面では、あまりにやわらかいヘビの体の不思議さに息をのんでしまいます。

『ハブの棲む島』

伝説のハブ捕り名人と奄美の森の物語』

西野嘉憲/著 ポプラ社



鹿児島県の南にうかぶ奄美諸島。ここにはハブという大きな毒ヘビがすんでいます。この島で、薬や研究に役立てるためにハブをつかまえてきたハブとり名人の南さんに取材をして書かれたのがこの本です。南さんの言葉からは、奄美の森とそこにくらす生き物への愛がひしひしと伝わってきます。

『道成寺 大蛇になった乙女』

片山清司/文 白石皓大/絵 BL出版



好きになった人に裏切られた姫が蛇になるという、恐ろしくも美しい安珍清姫伝説。お寺の鐘に巻きついた蛇が、鐘の中にかくれた人を焼きこらすという話は有名です。その伝説を下じきとした能「道成寺」が読みやすい絵本の形になりました。ここから興味を広げてほしい一さつ。

『世界のともだち』

メキシコ 織物の町の少女リセット』

長倉洋海/写真・文 偕成社



タコスや死者の日で有名なメキシコの国旗にはある伝説に基づいてヘビが描かれています。
本は世界の国の子どもたちの暮らしを紹介するシリーズです。住人の99%がおりもの関係の仕事をしている小さな町で、のびのびとくらす女の子リセットの毎日をのぞいてみましょう。

『アキンボと毒ヘビ』

A・マコール・スミス/作 もりうちすみこ/訳
広野多珂子/絵 文研出版



アキンボはアフリカにすむ生き物が大好きな男の子。今回はおじさんが働く町のヘビ園でかつやくする話です。ヘビ園には人を殺すほどの毒を持ったヘビもいますが、アキンボはたくさん勉強してエサやりや毒しほりも大人顔まけにこなします。そして、なんとヘビ狩りの助手までもつとめることになったのです！

『虹いろ図書館のへびおとこ』

櫻井とりお/著 河出書房新社



「三、だれにもなんにもいわない。」クラスで突然いじめられるようになった転校生のほのかが転がりこんだのは町の図書館だった。いつ来てもいいし、何もなくてもいい。顔が半分緑色の「へびおとこ」イヌガミさんがいる図書館で、6年生のほのかが自分の居場所をみつける物語。



■6年理科「人と環境」

理科で6年生が「人と環境」の調べ学習を行いました。「海洋酸性化」などの7つのテーマから1つを決め、ウェブページや本の情報を集めてレポートにまとめました。

「地球沸騰化」という衝撃的な言葉が昨年話題になりました。広島でも瀬戸内海の海水温が高くなったことが原因でカキの水揚げが遅れたそうです。10年後、20年後の生活を考えると足がすくむような気がします。今回の調べ学習で得た知識を深め、自分の言葉で環境問題について話せる人になってほしいと思います。



【1・2年生】本のかえしかた〇×クイズ



1

このラベルは「えほん」にはられている

E
あ

〇…せ ×…か

2

9るいの本は「あいうえお」でもわかれている

〇…る ×…し

3

0から8るいの本は「あいうえお」でもわかれている

〇…し ×…ら

4

本をのせてはこぶ台は「ブックエンド」というなまえだ

〇…だ ×…べ

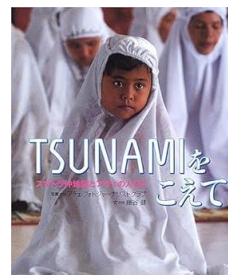
あつめた文字でことばをつくって、カウンターにつたえてください。せいかいした人にはぶんるいマスターシールをプレゼントします。



『TSUNAMIをこえて』

スマトラ沖地震とアチェの人びと

アチェ・フォトジャーナリストクラブ/写真 藤谷健/文 ポプラ社



2004年12月26日インドネシアをマグニチュード9.0の地震がおそった。地震後に津波が来ることを知らなかったたくさんの人が水に飲み込まれ、死者・行方不明者17万人という大惨事になったアチェ州で撮られた写真をまとめた本。

『竜之介先生、走る！』

熊本地震で人とペットを救った動物病院

片野ゆか/作 高倉陽樹/絵 ポプラ社



2016年4月14日の熊本地震では多くの動物たちもケガをしました。人の生活だけが最優先される災害時に、飼い主とペットの命と心を守るために「ペット同伴避難所」を運営した動物病院のノンフィクション。

『孫たちは帰らないけれど』

失われた「ふるさと」を求めて

豊田直巳/写真・文 農山漁村文化協会



2011年3月11日の東日本大震災をきっかけとして起きた原子力発電所の事故。漏れ出した放射線は土を汚染した。おばあちゃんたちが大切にしていた畑や、山菜やキノコをとる山、先祖代々続いた豊かな暮らしは永遠にうばわれてしまった。

『あきらめないことにしたの』

堀米薫/作 新日本出版



大地と人のつながりを大切にして、ゆっくりとこの村で暮らそう。そんな思いを込めたじゃがいも「イータテバイク」のデビューを目前の2011年、福島県飯館村を地震がおそった。放射性物質に汚染され、立ち入ることすらできなくなったふるさとの作物をつなごうとする女性の物語。

■つぎの人のために正しくかえす

1・2年生が背ラベルを利用した本の返し方について学びました。同じ番号の本をならべることで、同じ分類の本がそろうことを学んだ子どもたちは、休みに時間も間違った場所に返却されている本を直してくれていました。

次の人のことを考えて本を正しい場所に返すという小さな積み重ねは、社会に出た時に誰かのことを考える大きな公共性につながっていきます。みんなのひと手間で本がきれいになっていることが嬉しいと思える子どもになってほしいです。



冬休みの親子読書の中からいくつかえらんで掲載します。

書名 ぼくの学校は馬の厩ホーム

著者今西乃子

出版社名目于文补土

本を読んで 感想や あなたの考えを 書きましよう。

インドの少年ビッキーは家がなく、少しの食べ物でも友達と分け合い、しかけ合、生きています。学校には行けず、馬駅のホームの小屋で勉強しています。ビッキーの夢は、路上の子ども達に英語も教えられ、先生になることです。だから毎日自分から必死で学んでいます。

ほくには、住む家があります。それでも、なかなか勉強に
手が付かなかったりする日があります。そして、なぜ学校に行
て、なぜ勉強しているのかをよく考えたことがあります。で
した。人の役に立つために一生けん命努力することの大切
さをビギナーに教え受けた気がします。

くおうちの方から>どんな親子読書だったか・お子さんの反応・本の感想などご記入ください。

この本は、社会活動家の輩が、インターネットで取材し書いたノンフィクション。ストリートカルトレのビッキーは、若い生活等、社会からのイライラに耐えながらも、自分のためだけに、社会のために尽くそうという強い使命感を身につけていた。そのことに圧倒させられろとむに、その理由をずっと考えさせられた。

親子共に、どうやら二人の役に立てるか、常に考えられる人間にならなければいけません。

名
姓

かみ+の+ベーズ+ター

著者名廣山鳴玲子

出版社名 理言 合冊社

本を読んで 感想や あなたの考えを 書きましょ。う。

この本は、幸介と、いっしょに住んでいる甘えんぼうで、手のか
かる神様が主人公のお話です。この本を読んでも、
私は神様は、ただねがいごとをかなえてくれるので
はなく、がんばらば、自分を见守ったりおうえんしてくれ
る、そんなと、気づきました。げん実には、すかいたは
見えな、いけれど、このお話のようには、いさぐて、さ
て、話すことのできる神様が、私の近くに、もいてくれ
ると、うれい、です。

くおうちの方から>親子読書の様子・お子さんの反応・本の感想などをお書きください。

シ、ルズ。本の最新刊刊には知らず、年を取つたので、主人達の関係（体をうらやましく思ひながら）棄つて諒めたようです。諒み終えて、前作も諒むておけという前作、前作を諒んでから本書を完成させようとしたからあんなに書けてゐるのか、という思いが口にいひました。

「てなりの空手は着く見える」という大へん抱きしめ感があるメイトン・エドワーズに、
 思いついたが、家族への思いを新たにしようです、自分にはいふもの、手にいれるものを前に
 すると、うちやうまいという気持ち、あるいはそれを抱きしめる気持ちがあるから、いれ
 たいけれど、自分にとって何が本当に守りたいもののための決意で持てることか、である

大人が読んででも考えさせられる内容でありつつ、若い人にも読んでほしい。

書名 フランタースの犬

著者名
ウイ-タ

出版社名 Gakken

本を読んで 感想や あなたの考えを 書きましよう。

このお話は、バルビーの村を舞台に、少年ネロと、犬のパトランジュとの友情が美しくえがかれています。ネロはネロの一言で、これだけルーベンスの絵が見た（のが）わがりました。そして最後にルーベンスの絵を見る事ができたのに、死んでしまったという結末になってしまいました。悲しいなと思いました。

＜おうちの方から＞親子読書の様子・お子さんの反応・本の感想などをお書きください。

[illegible]

書名 地面師たち

著名新庄耕

出版社名 集英社文庫

本を読んで 感想や あなたの考えを 書きましよう。

「地面師たち」は私が読んでききた本の中で少し変わった部類の本だと思ひました。今まで読んできた本とは遠く新しい表現の仕方やまゐる本当のようなストーリーがありました。地面師は今日頃バニョースに出いてその地面師の本が出てゐることに興味を持ち、この本を選びました。最初は順調にいくと思ひていたけれど、最後には仲間同士の問題がおき、驚く結末でした。また物語と共に進む史年聞近の刑事、辰の地面師の捜査もする系をとどめていくようになっています。

くおうちの方から>どんな親子読書だったか・お子さんの反響・本の感想などご記入ください。

入学してから早五、最後の親子読書となりました。ちえど、その時期は「これを
読んでみたい」と言いつくたのがこの本でした。子供に言われるまで、この本の存在も
知られていなかった事も知らずにいまになって、この著書内容に興味を持つ様子に
なつたのかと感慨深い気持ちになりました。これからは、お母さんお父さんよりも
これを読める事が増えつゝ、うかうから染

6日間、貴重な体験をありがとうございました。

図書館だより



3月号

2025年3月18日
安田小学校図書館

6年生から読み聞かせのプレゼント

6年生が、なかよし班の1年生へ読み聞かせをしました。

6年生は、どうプログラムを組めば1年生が喜んでくれるかを考えながら、各チームで企画をねってきました。本やパネルシアター、紙芝居といった「おはなし」と、手あそびやクイズ、あやとりなどの「おたのしみ」を組み合わせで作られたプログラムはそれぞれ個性豊かでよく考えられていました。1年生と絵本をかこんでにこにこしている6年生の顔は、友達に見せる笑顔とはまた違った優しさがあり、とても印象的でした。

1年生は、大好きなお兄さんお姉さんに本を読んでもらえたことで、ますます本が好きになりました。



今年度の貸出・返却について

春休みは本の貸出を行いません。まだ図書館の本を持っている人がいたら、かならず本を返してください。

間違って持って帰っている図書館の本は家にありませんか？バーコードや背ラベルのついた本があったときは、カウンターにもってきてください。

としょかん 1ねんのまとめ

図書館に入った
本のさっすう

■1,214さつ

40さつ以上
本を読んだ人数

■138にん

一番さっすうが
多い分類

■9類
■6,580さつ

一番かしだしの
多かった月

■12月
■2,142さつ

一番本を多く読んだ
人のさっすう

■低学年 166さつ
■中学年 141さつ
■高学年 155さつ



図書館のイーゼルには、月に二回、希望者がいてねいに絵をかいてくれています。

保護者の皆様<読書冊数について>

読書能力は、一般的に◆ひとりで本を読み始め、場面をイメージできるようになる低学年◆すらすらと読めるようになり、長めの物語やノンフィクションを最後まで読み通すことができるようになる中学年◆読むスピードが上がり様々な分野の本へ世界を広げていく高学年、と進んでいきます。

読書は冊数を競うものではありませんが、こういった力を養うためにはある程度の数の本を読むことが必要です。低学年は80冊、中学年は50冊、高学年は30冊が一つの目安になると思います。学校の読書記録と公共図書館や家で読んだ本を合わせて今年度何冊の本を読んだか、ご家庭で一度ふりかえってみてください。